

下紺屋町の歴史② 八幡改修



改修前（平成22.11.27撮影）



平成の八幡改修

天正12年(西暦1584年)上田城築城にあたり真田安房守昌幸が鬼門の鎮護のために東御市より移設した八幡神社は、現在紺屋町の鎮守の杜として・憩いの場として親しまれ、また各種伝統行事の会場として活用されていますが、老朽化も進んできました。長年の風雪により屋根の傷みはひどく参拝者に危害を加える恐れもあり、雨漏りによる文化財への影響も懸念されるところから平成24年3月緊急に改修が行われることとなりました。

その後住民の皆様にご寄付のお願いをしたところ下紺屋町の方々より251件1,180,500円のご寄付をいただき、上紺屋町の皆様のご寄付並びに八幡神社本会計含め総額2,252,345円の改修工事が行われました。



自治会長、総代、宮係、世話人会の皆様

八幡神社例祭（平成24年4月14日、15日）

改修なった八幡神社に於いて例祭が開催され、ソフトボール同好会は必勝祈願を行いました。



盆踊り（平成24年8月14日～16日）

例年通り紺屋町合同の盆踊り大会が開催され、堂内も開放し見学していただきました。



下紺屋町町内スポーツ大会（平成24年9月30日）

町内スポーツ大会として八幡境内でペタンクを実施。八幡の歴史講習会も行いました。

